

令和元年度 半田市障がい者自立支援協議会 第2回地域包括ケア部会 ダイジェスト

発行元：半田市 令和元年 11 月

本部会は障がいのある方の病院・施設から地域への移行と、地域で生活するための環境整備について検討し、地域で安心して生活できる仕組みづくりに取り組んでいます。第2回の部会は、それぞれのワーキンググループ（WG）での取組の共有と、今年度の取組み方や課題抽出、情報の共有方法等について話し合いをしました。

第2回地域包括ケア部会

- 日時 令和元年10月31日（木）
10時から12時
- 場所 半田市役所 会議室404
- 参加人数 14人
(保健所、病院・入所施設関係者、相談支援員等)



☆地域移行WG☆

*現在入所中の方への面談結果について

地域移行 WG では、上半期中に半田市民で半田市内の障がい者入所施設へ入所している方全てと面談を行い、地域で生活する（グループホームや一人暮らしなど）ことへの意識調査を行ったため、調査結果を共有しました。

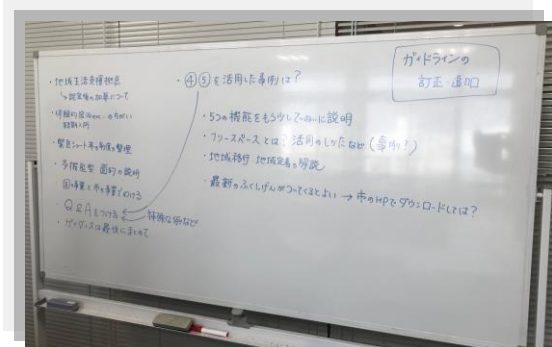
●病院の立場から

病院関係者以外と面談することで、本人に退院意欲が芽生えるため、継続した面談が必要。

●施設職員の立場から

普段の生活の中で、退所して生活ができると想定される方がいる。入所期間が長くなると、入所施設に慣れ、新しい環境に移ること（退所）に消極的になっている現状があるため、定期的な面談等退所のきっかけ作りが必要。

今後、本人の意識や状態も変わっていくことから、1年ごとに面談を実施することがよいことを共有しました。



☆地域生活支援拠点WG☆

*地域生活支援拠点ガイドライン作成について

地域生活支援拠点 WG では、市内の相談支援員やサービス管理責任者など、障がい者の相談担当者向けに、地域生活支援拠点の共通認識を図るためのガイドラインを作成します。今回は事務局案として作成したガイドラインについて、ご意見をいただきました。

●市町村が地域生活支援拠点整備として位置付けている、市町村独自事業（地域の実情に応じて整備してる事業）と国が定めている事業（市町村によらず一律の事業）を分けた方が分かりやすい

●宿泊や通所、体験利用等、大きな分類の中に様々なサービスがあるため、それぞれのサービスの違い（受給者、受給量等）の比較表があると分かりやすい

☆今後の取組・課題☆

地域移行支援 WG では、半田市在住の方が入院している精神科病院への訪問、患者との面談を予定しています。地域移行を進める際、本人や家族との退院・退所に向けた合意形成が大きな課題になっています。

地域生活支援拠点 WG では、今回の意見を参考に、より分かりやすいガイドライン作成に取り組んでいきます。

問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（羽生田・三角田）
TEL 0569-21-5585
半田市 地域福祉課（富田・木原）
TEL 0569-84-0641

